

神藤タオル株式会社 / 神藤貴志
SHINTO TOWEL CO., LTD.
Takashi Shinto

デザインプロデュース向上委員会 / 山納洋
DESIGN PRODUCE ENHANCEMENT COMMITTEE
Hiroshi Yamanoh

— 巻頭特集 —



神藤貴志 / 神藤タオル株式会社所属。日々泉州タオルの未来を描きながら活躍中。

山納洋 / デザインプロデュース向上委員会・統括プロデューサー。本籍は大坂ガス(株)近畿園部。

神崎 私たちの中には、クリエイターと企業と販売するお店の三者が組んでモノを作れば、コスト高になるんじゃないか、実はコスト削減になる上、売れる商品ができるのではないかと、という仮説がありました。『made in west』はそれを証明するチャレンジの場なんです。日本製の良い商品を求める日本人が増えているのは間違いありませんから。

山納 売り方の工夫はありましたか？

片岡 今回は商品ディスプレイをオプスデザインにプロデュースしていただきました。そこで、デザイナー視点の陳列と、売場としての陳列は違うことを改めて認識しましたね。

神崎 私たちも商品説明文や価格の表示方法など、買うお客様へのアプローチは勉強になりました。

山納 製造業として『made in west』のようなプロジェクトに取り組む中で、気をつけておられたことは？

神藤 製造業は、特殊技術や職人的な技術重視の商品づくりに走りがちです。技術を進化させることを良しとする時代があったのは事実です。今回も別の糸やもっと新しい機械で……という話が社内でもありました。でも、価格を無視した良い商品は、安かろう悪かろうの商品と同じなんだな、と感じました。お客様が求めるイメージにマッチした商品を作る意識が一番大事。そこはかなり意識しましたね。私たち企業とお客様を繋いでくれる方々の意見を活かしながら、いかに良いモノづくりをするか。それが良い商品を作る秘訣なのだと感じました。

製造業+クリエイターをモノづくりのスタンダードに

山納 これから『made in west』はどう動いていくのでしょうか？

神崎 私たちは『made in west』のモノづくり手法をモノづ

くりのスタンダードにしたいと思っています。そのため「良いことに取り組んでいますが儲かりません」ではなく、きちんとビジネスとして成立することを実践していきたいですね。

山納 モノづくり企業はどうあればもっと繁栄できるでしょうか。

神崎 未知なる新技術を開発するよりも、今ある技術を編集してか上手に活用するか、という時代でもあると思います。それでも社会に受け入れられる商品を生み出すことは可能です。ニーズを見つける力を持つクリエイターと、それをカタチにできる企業が組めば、求められる商品は作れるはず。それを『made in west』が証明できたと思います。ただし、お互いの立場を思いやって考えられる……そんなモノづくり企業やクリエイターが集まって進めることが大切です。

神藤 企業の立場から言わせていただくと、信頼できるクリエイターと組むことが古い考えを打開するチャレンジの第一歩であることは間違いなくと思いますよ。

山納 私は、大阪府のデザインプロデュース型商品開発促進事業の統括プロデューサーとして、中小企業がデザイナーやプロデューサーと連携して商品を開発していく現場を取材しています。というのも、この事業の中でプロデューサーやデザイナーがどのようにして商品開発を進めたかを取材して情報発信しています。どの現場でも「相手思いじゃないとデザインプロデュースはできない」ということを感じていて、今日のお話の中にたくさんそのヒントがあったように思います。今日は本当にありがとうございました。

一同 ありがとうございました！

made
in
west

『made in west』から生まれたプロダクトの一部

- 1 デイバック(ザック) / 登山用品専門店『神戸ザック』が作るデイバック。“背負い心地の良さ”はそのままに街でも違和感なく使えるデザインに。
- 2 キーホルダー / ディスプレイ用の什器などで使われる色とりどりのアクリルを、鍵のカタチにカットしたキーホルダー。
- 3 3NOTE / 数種類のリフィルノートの中から3つを自由に組み合わせ、自分の暮らしに寄り添うようにカスタマイズできるノート。
- 4 バントート / 関西で人気のあるお店のバンを染料インクで直接布に「吹き付ける」インクジェット捺染で作られたバントート。捺染と素材が馴染んでいます。
- 5 靴下 / 日本一の生産量を誇る奈良県広陵町で作ったオーガニックコットンの靴下。吸水性や保温性に優れ、夏でも冬でも心地よく履けます。
- 6 革ポーチ / 豚革のしなやかさと存在感を活かしたポシェット。デザインは最小限に、革の持つ表情を引き立たせた仕上がり。



Profile

株式会社オプスデザイン

クリエイティブの新しい環境をカタチにすることを目指し、クリエイター同士のネットワークづくり、クリエイターとクライアントのよりよい関係づくりを模索し続けている。

大阪市中央区南船場2-4-19 大和ビル16号館
TEL_06-6125-1556
<http://www.opus-design.co.jp/>

東急ハンズ梅田店

2011年、大阪駅に直結している大丸梅田店内にオープンした東急ハンズ梅田店。「ここはヒント・マーケット」がコンセプト。

大阪市北区梅田3-1-1 大丸梅田店内
TEL_06-6347-7203
<http://umeda.tokyu-hands.co.jp/>

神藤タオル株式会社

明治40年創業の泉州タオルメーカー。泉州の後晒タオルを中心に安心、安全、高品質なタオルを生産している。同時に2.5重タオルなど新しい商品開発にも取り組んでいる。

泉佐野市日根野2577-1
TEL_072-468-0777
<http://www.shinto-towel.com/>

デザインプロデュース向上委員会

「デザインプロデュース型商品開発促進事業」の採択プロジェクトの進捗状況を情報発信し、様々なデザインプロデュースの方法論を広く普及することを目的としている。

<http://www.design-produce-osaka.jp/>

